

# 国語科学習指導案

広島県立教育センター  
指導主事 太田 智子

## I 本單元における単元構想の工夫について

### 1. 領域の設定、単元構想について

作成した単元は「書くこと」の領域である。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域の中で、「書くこと」の領域は、「自分の伝えたいこと」を起点として学習活動を行う必要性の高い領域である。個別に対応することが効果的な領域であると考え、「書くこと」の領域で設定した。

### 2. 主体的な学びを実現するための手立てについて

#### (1) 協働的な学びと個別の学びを一体的に充実させるために

「協働的な学び」で得た気づきを、どのように自分の文章で生かしていくかを「個別の学び」で「メタ認知」しながら思考する。そして、思考した結果を「自分が伝えたいこと」が本当に伝わっているかを「協働的な学び」で検証し、その検証で得た気づきを基に、再度思考する。このように、「個別の学び」において思考したことを「協働的な学び」で共有し、共有で得られた気づきを、一斉授業により全体に価値付け、再度「個別の学び」で思考を繰り返すことで、深い学びにつながり、主体的に学習に取り組む態度も養われる。

また、本単元で付けたい資質・能力に関する活動の状況は、複数回に渡って把握し、手立てを講じる。

#### (2) 多様な児童生徒に資質・能力を育成するための手立てについて

本単元では、教師が題材を提示するが、多様な生徒がいることに留意し、生徒個々の伝えたいことに応じて、題材の変更を生徒自身で行うことができるよう支援するものである。その過程で、変更を行うまでに、どのように考えて変更しようとしているのか、また、変更することで、どんな計画で学習を進めているかと考えているのかという生徒の意思を確認し、教師も生徒がどんな課題を設定しているかを把握し、生徒と共に課題設定や学習の計画の妥当性を判断することとしている。

具体的な手立てとして、課題に対してつまづきを示す生徒に対しては、個別に対応し、手立てを講じていくこととしているが、特に、書くことが苦手な生徒に対しては、授業の形態を一斉授業（以下、【全体指導】という。）とともに、個別指導の形態も導入することで、個別に手立てを講じたり、相談に応じたりしやすいような授業づくりを行うといった工夫（以下、【手立て①】とする。）を行っている。他方、課題を早期にクリアすることが見込まれる、あるいはクリアした生徒に対しては、作品を応募するなどの機会を生かし、多様な相手意識をもたせたり、複雑な社会問題に対する意見を述べさせたりするなど、関心や意欲をより高められるような工夫（以下、【手立て②】とする。）を行う。そのようにして、いずれのグループの生徒に対しても、個々の資質・能力を伸ばしつつ、生徒全員が単元の目標として示したゴールに到達できるよう展開を工夫している。

## II 具体の単元計画

### 1 対象

中学校第2学年

### 2 単元名

「おすすめするならどっちかな。」

### 3 使用する教材

中学生の投稿記事（手書きの手紙をもらったうれしさについて書かれたもの）

アンケート調査結果（SNSでのコミュニケーションに関する年代別の調査結果）

（社会で注目されている問題や、ある事柄に関してメリット、デメリットが双方の立場から述べられているものを提示する。）

#### 4 設定する言語活動

自分の考えや気持ちを伝える」とき、手書きの手紙と SNS とではどちらがおすすぬかを、これからスマートフォンをもつかもしれない小学校6年生に文章で書いて伝える。

#### 5 単元の目標

(1) 相手や目的に応じて文章の構成や展開を考えることができる。

[知識及び技能] (1) オ

(2) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えて、自分の考えを伝えることができる。

[思考力・判断力・表現力等] B (1) ウ

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

#### 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①相手や目的に応じて文章の構成や展開を考えている。((1)オ)	①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えて、自分の考えを伝えている。(B (1) ウ)	①粘り強く自分の考えを伝えるための根拠の適切さを吟味し、学習の課題に沿って、自分の考えを伝えようとしている。

#### 7 指導と評価の計画 (全8時間)

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法等
I	1	○学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校6年生からの質問」を示し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・自分の体験も想起させて、伝えたい内容を考えさせる。</li> </ul>	
	2	○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。		
	3	○教材として配付した資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「手書きの手紙」や「SNS」に関する資料等を読み、自分の意見とどのように関連付くのかを分析させる。</li> <li>・既習の「話の中心的部分と付加的な部分」を想起させ、整理させる。</li> </ul>	
	4	○自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容を、どのように文章の中で使うのか、文章構成をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く目的や意図、読み手を意識し、自分の意見を伝えるために、どのように説明や具体例を用いて、文章を構成するとよいのかを考えながら、文章構成の案を複数作らせる。</li> <li>・自分の考えと用いた説明や具体例が適切に関連付いている文章の構成になっているかどうかを検討し、気付きを加筆させる。</li> </ul>	[知識・技能] ① <b>【ワークシート (文章構成シート) の記述】</b> 自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容と自分の意見とを関連付けた文章の構成をしているかを確認する。
5	○文章構成シートをグループ内で見合い、気付きを加筆する。			
6	○気付きの加筆を基に、再度、文章構成シートを作成する。			

II	7	○文章構成シートを基に、小学校6年生に自分の考えを伝えるための文章を記述する。	・文章構成シートでの修正を意識し、記述する際も書く目的や意図、読み手を意識し、自分の意見を伝えるために、どのように説明や具体例を用いて、文章を記述するとよいかを考えさせる。	[思考・判断・表現] ①【ワークシートの記述】文章構成シートを基に、小学校6年生に対して、自分の考えを伝えるための文章を記述しているかを確認する。
III	8	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えて、自分の考えを伝えるために、文章構成や記述の際にどのように試行錯誤したのかを振り返らせ、本単元で学んだことを、今後の学習でどのように生かしたいかを考えさせる。	[主体的に学習に取り組む態度] ①【ワークシートと振り返りの記述】作成した文章について自己評価、相互評価を生かして手直しをし、振り返りを行っているかを確認する。

8 多様な生徒に資質・能力を育成するために「グループ」化した手立ての例 (斜体は【全体指導】との違いを示す。)

	【手立て①】	【全体指導】	【手立て②】
課題設定の方法	<i>先生が提示する課題に取り組む。</i>	先生の課題提示の後、自分で書きたいテーマを決める。	<i>先生の課題提示の後、自分で書きたいテーマを決める。</i>
設定する課題	「手書きの手紙」と「SNS」のどちらがおすすぬかを小学校6年生に伝える文章を作成する。	「手書きの手紙」と「SNS」と同じような関係にある身近なテーマで、自分の書きやすいものを生徒自身が設定し、伝える相手も併せて設定させ作成させる。  例:「私服」と「制服」とどちらがよいか、〇〇中学校の生徒に伝える。	「職業観」や「比較文化論」など、 <i>社会的な問題や、抽象的な概念に関わるような内容のテーマ</i> で、自分が書いてみようと思うものを生徒自身が設定し、 <i>伝える相手も併せて設定させ、作成させる。</i>  例:世の中にある様々な勤務形態について調べて、就職活動を始める前の学生に説明する。
課題設定する際のポイント	・他のグループで課題設定して欲しい生徒には、その旨を伝え、挑戦を促すように働きかける。(その際は、自分の興味や問題意識をもっている事柄で書いてみるといいのではないかと促し方をする。	・【手立て②】のグループで課題設定して欲しい生徒には、その旨を伝え、挑戦を促すように働きかける。 (その際は、自分の興味や問題意識をもっている事柄で、視野を広げて書いてみるといいのではないかと促し方をする。 ・【手立て①】のグループが望ましい生徒であっても、自分の書いてみたいと思っているテーマへの興味・関心が高い場合は挑戦させる。その際、探してくる資料については、読み取りが難解なものを避けるよう	・他のグループが望ましい生徒であっても、自分の書いてみたいと思っているテーマへの興味・関心が高い場合は、このグループに位置付けて、チャレンジさせる。その際、探してくる資料については、読み取りが難解なものを避けるように、個人面談の中で促していく。「やってみよう」という気持ちを大事にしなが、根拠となる資料の読み取りで難易度を調整していく。 ・面談をして、興味・関心が高く、設定しているテーマへの理解や知識が豊富で、問題意識が一定以上である場合は、

		に、個人面談の中で促していく。「やってみよう」という気持ちを大事にしながら、根拠となる資料の読み取りで難易度を調整していく。 ・書こうとしている事柄にふさわしい相手が設定されているか、書きにくさが生じる相手の設定ではないかを確認する。	資料の読み取りや記述での手立てを講じながら挑戦させる。 ・書こうとしている事柄にふさわしい相手が設定されているか、書きにくさが生じる相手の設定ではないかを確認する。
--	--	--	---

9 多様な生徒に資質・能力を育成するための指導計画例（【全体指導】をベースに、その差異を記載）

(1) 【手立て①】について

（斜体は【全体指導】との違いを示す。★斜体は個別の課題設定を示す。）

次	時	主な学習活動	手立てを考える際、想定している生徒の姿	指導上の配慮事項
I	1	○学習の見通しをもつ。	・自分の考えがもてない。 ・「手書き」や「漢字で表記する」のが苦手。	○「手書きの手紙」と「SNS」で意見がもちにくい（興味 が湧かない）生徒には、「 <b>直接会って話す</b> 」「 <b>リモートで話す</b> 」など、 <b>同じような関係にあるテーマであれば変更を認める</b> 。 ○構成や記述については手書きでもワープロでもよい。
	2	○「小学校6年生からの質問」を読む。 ○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。		
	3	○ <b>教材として配付した資料</b> を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。	・資料が難しく、読み取れないから、もっとやさしいレベルの文章で理解したい。	○自分で探した資料等の方が根拠にしやすい場合は、教員が確認をして、使用を認める。
		○自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容を、どのように文章の中で使うのか、文章構成をする。	・どこに結論を置いたら良いのか分からない。 ・それぞれの段落に何を書くか、まとまらない。	○一人ずつ <b>対面</b> で、 <b>進捗とともに、どこが難しいのか、どこが分からないかなど、どこに苦労しているのか、つまづいているのかを把握し、アドバイス等を行う</b> 。
	5	○文章構成シートをグループ内で見合い、気付きを加筆する。		
	6	・気付きの加筆を基に、再度、文章構成シートを作成する。		
II	7	○文章構成シートを基に、 <b>小学校6年生に自分の考えを伝えるための文章</b> を記述する。	・字数制限がプレッシャーである。 ・小学校6年生にとってどんな言葉が分かりやすいか、分かりにくいかが判断できない。	○ <b>小学校6年生に通じる言葉かどうかについては先生や、兄弟のいる子に相談してもよい</b> 。 ○字数制限はしない。
III	8	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直したい部分だけ記	・手直した場合の、文章のつなげ方が分からない。	○手直しの仕方が分からない場合は、個別に相談にのる。

本時案に手立ての詳細あり!

		述を赤で変更し、振り返りをする。	
--	--	------------------	--

(2) 【全体指導】について

次	時	主な学習活動	手立てを考える際、想定している生徒の姿	指導上の配慮事項
	1	○学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の興味のあることで書きたい。</li> <li>・「手書き」や「漢字で表記するのが苦手」だけど、パソコンは得意。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「手書きの手紙」と「SNS」で意見がもちにくい（興味が湧かない）場合には、同じような関係にあるテーマで社会とのつながりが見えるものであれば変更を認める。</li> <li>○構成や記述については手書きでもワープロでもよい。</li> <li>★選ぶ資料は、社会とのつながりが見えるものを探し、メリット、デメリット双方の立場からの意見をそれぞれ探すように伝える。</li> <li>★伝える相手を選んだテーマに合わせて設定させる。</li> </ul>
	2	○「小学校6年生からの質問」を読む。		
	3	○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。 ★「手書きの手紙」と「SNS」の関係と同じような関係にある身近なテーマで書きたいものを自分で設定する。		
	3	○自分で見付けた資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。	・自分が興味のあることを、自分で調べて、根拠として使用したい。	○自分で探した資料等の方が根拠にしやすい場合は、教員が確認して、使用を認める。
	4	○自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容を、どのように文章の中で使うのか、文章構成をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結論の位置は、自分の伝えたい内容で決めたい。</li> <li>・自分の好きな文章の書き方で書いてみたい。</li> </ul>	○双括型、尾括型、頭括型は自分の文章スタイルに合わせてよい。
	5	○文章構成シートを同一のグループ内で見合い、気付きを加筆する。		○対面で、進捗とともに、どこが難しいのか、どこが分からないかなど、どこに苦労しているのかを把握し、アドバイス等を行う。
	6	○気付きの加筆を基に、再度、文章構成シートを作成する。		
II	7	○文章構成シートを基に、文章を記述する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は書きたいテーマに合わせて伝える相手を選びたい。</li> <li>・短くても分かりやすく書ける気がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマに応じて、伝える相手を変えてもよい。</li> <li>○字数制限はしない。</li> </ul>
III	8	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直したい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。 ○作品を応募する機会があれば応募する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手直しを複数考えたけれど、どちらがよいか分からない。</li> <li>・もう一つ、思い付いた具体例で書き直してみたい。</li> </ul>	○手直しの仕方がまとまらない場合は、個別に相談にのる。

本時案に手立ての詳細あり!

(3) 【手立て②】について

(斜体は【全体指導】との違いを示す。★斜体は個別の課題設定を示す。)

次	時	主な学習活動	手立てを考える際、想定している生徒の姿	指導上の配慮事項
I	1・2	○学習の見通しをもつ。 ○「小学校6年生からの質問」を読む。 ○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。 ★自分の興味のあるテーマについて新聞やインターネットを利用して調べ、自分の書きたいテーマを探し課題を設定する。	・この課題は簡単だから、すぐかけるかも。だから、自分の興味のあることで書きたい。 ・「手書き」や「漢字で表記するのが苦手」だけど、パソコンは得意。	○こちらが提示したものではありません。物足りない場合には、自分の書きたいテーマを選ばせる。 ○構成や記述については手書きでもワープロでもよい。 ★選ぶ資料は、社会とのつながりが見えるものを探し、メリット、デメリット双方の立場からの意見をそれぞれ探すように伝える。 ★伝える相手をテーマに合わせて設定させる。
	3	○自分で見つけた資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。	・自分が興味のあることを、自分で調べて、根拠として使用したい。	○自分で探した資料等の方が根拠にしやすい場合は、教員が確認してOKであれば使用を認める。
	4	○自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容を、どのように文章の中で使うのか、文章構成をする。	・結論の位置は、自分の伝えたい内容で決めたい。 ・自分の好きな文章の書き方で書いてみたい。	○双括型、尾括型、頭括型は自分の文章スタイルに合わせてよい。
	5・6	○文章構成シートをグループ内の生徒と見合い、気付きを加筆する。 ○気付きの加筆を基に、再度、文章構成シートを作成する。		○対面で、進捗とともに、どこが難しいのか、どこが分からないかなど、どこに苦労しているのかを把握し、アドバイス等を行う。
	7	○文章構成シートを基に、文章を記述する。	・私は書きたいテーマに合わせて伝える相手を選びたい。 ・短くても分かりやすく書くことができる気がする。	○テーマに応じて、伝える相手を変えてもよい。 ○字数制限はしない。
	8	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。 ○作品を応募できるような大会に積極的に応募する。	・手直しを複数考えたけれど、どちらがよいか分からない。 ・もう一つ、思い付いた具体例で書き直してみたい。	○手直しの仕方がまとまらない場合は、個別に相談にのる。

本時案に手立ての詳細あり!

10 学習活動における個別と協働の位置付け (【一斉】:一斉授業 【協】:協働的な学び 【個】:個別の学び)

		【手立て①】	【全体指導】	【手立て②】
次	時	主な学習活動		
I	1	○学習の見通しをもつ。 ○「小学校6年生からの質問」を読む。【一斉】		
	2	○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。【個】	○「手書きの手紙」「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。【個】 同じような関係にある身近なテーマで書きたいものを自分で設定する。 伝える相手をテーマに合わせて設定する。	○「手書きの手紙」と「SNS」のそれぞれの特徴を資料から読み取る。【個】 自分の興味のあるテーマについて新聞やインターネットを利用して調べ、自分の書きたいテーマを探し、課題を設定する。 伝える相手をテーマに合わせて設定する。
	3	○教材として配付した資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。【個】	○自分で見付けた資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。【個】	○自分で見付けた資料を読み、自分の意見とどのように関連付くのか分析する。【個】
	4	○自分の考えを伝えるために、資料から読み取った内容を、どのように文章の中で使うのか、文章構成をする。【個】		
	5	○文章構成シートをグループ内で見合い、気付きを加筆する。【協】		
	6	○グループでの共有で得られた気付きを全体で価値付け、見直しの視点とする。【一斉】 ○気付きの加筆を基に、再度、文章構成シートを作成する。【個】 個々の進捗を確認する		
II	7	○文章構成シートを基に、小学校6年生に自分の考えを伝えるための文章を記述する。【個】 個々の進捗を確認する	○文章構成シートを基に、自分の設定した相手に伝えるための文章を記述する。【個】 個々の進捗を確認する	○文章構成シートを基に、自分の設定した相手に伝えるための文章を記述する。【個】 個々の進捗を確認する
		○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】 ○作品を応募する機会があれば応募する。	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】 ○作品を応募できるような大会に積極的に応募する。
III	8	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】 ○作品を応募する機会があれば応募する。	○作成した文章について自己評価、相互評価をし、手直ししたい部分だけ記述を赤で変更し、振り返りをする。【協】 【個】 ○作品を応募できるような大会に積極的に応募する。

本時案に手立ての詳細あり!

11 単元の中のポイントとなる時間の学習指導案例( I 次 第4時の場合)

- (1) 本時の目標  
相手や目的に応じて文章の構成や展開を考えることができる。【知識・技能】
- (2) 本時の評価規準  
相手や目的に応じて話や文章の構成や展開を考えることができる。【知識・技能】
- (3) 準備物  
ワークシート, デジタル機器
- (4) 学習の展開

過程	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
導入 10分	○本時の学習の流れ, 目標を確認する。	◇本時の学習の流れについて理解させる。  ◇前時に, 資料から読み取ったことをまとめたシートを確認する。(デジタル機器での確認)	
<b>本時の目標: 相手や目的に応じて文章の構成や展開を考えることができる。</b>			
<p><b>多様な生徒に資質・能力を育成するための個人面談のポイント (全生徒共通)</b></p> <p>① 生徒が書こうとしている方向性を尊重して, 力を付けていけるように声掛けを行う。 (教師の書いて欲しい方向に無理に近づけない。)</p> <p>② 生徒自身で, 修正の方法や修正の方向性に気付けるように声掛けをする。 (教師からの指示は避ける。)</p>			

展開  
35分

**【手立て①】のグループ**

○「手紙がよいか」「SNSがよいか」について、それぞれの立場で書かれた資料から読み取れることを根拠に、相手意識をもって、文章の構成や展開を考え、ワークシートに記述する。

◇両方の考えに触れながら意見をまとめていく根拠として、現在使用している資料が最もふさわしいのか、小学校六年生が相手であるということはきちんと考慮できているかを検討しながら、2例以上(具体例の入れ替えを含む)考えさせる。

◇2例以上考えたものをそれぞれ比較させ、今回の意見文の構成や展開に最もふさわしい例を選ばせ、その例を選んだ根拠を記述させる。

◆自分の伝えたいことの根拠が、自分の意見に賛成のものばかりである場合は、反対意見の相手を意識させて、根拠を選び直させる。

◆小学校6年生に対して述べる文章の展開や構成として、工夫が必要な生徒には、自分が小学生のころを思い出したり、デジタル機器で小学校六年生が書いた作文などを検索させたりして、相手のイメージを的確にもたせるようにする。

**【知識・技能】**  
(ワークシートの記述)

**手立ての具体を教師と生徒の会話で示します！**

**【手立て①】のグループで想定されるつまづき**

- ・資料の読み取りが適切にできていない。
- ・資料の読み取りはできているが、双方の考え方に触れずに構成を考えている。
- ・自分の伝えたいことと根拠とする資料がかみ合っていない。
- ・自分で見つけた資料を使いたいと言ってきたが、見付けている資料が不適切である。等

**会話例あり！**

**指導の具体（個人面談）**

生徒：「今、こんなふうにワークシートを書いています。2例作りました。」

先生：「なるほどね、自分がSNSをおすすめする意見の裏付けになる根拠はどちらにも入っているね。でも、君が言うように、手書きの手紙、書くのに時間がかかるし、面倒だ、という意見の人ばかりなのかなあ？どう思う？」

生徒：「だって、先生、手書きってめんどくさいよ。めんどくさいって自分は思うってことは入れましたよ。」

先生：「そうよね、でも、便せんや封筒のレターセットって、結構、凝ったデザインのものが増えているよって資料は読んだ？」

生徒：「はい、少数派はいるんだなって思いました…。」

先生：「そうそう、『自分と違う考えの人がいる』っていうその意識は大事よ。渡している資料の中には、レターセットなどの商品を作っている会社がどんな考えで作って商品化しているかという資料もあったはずよ。もう一度見てみてね。前回の資料を読み取る時、みんなでどんな話したか覚えている？」

生徒：「自分と異なる意見の人の考え方にも触れて、根拠を示していくことが大切でした…。」

先生：「そうね、じゃあ、自分と異なる意見についての資料を読んで、ワークシートをもう一つ考えてみようか。できたら、また見せてね。」

生徒：「分かりました。」

	<p><b>【全体指導】のグループ</b></p> <p>○自分の設定したテーマについて、それぞれの立場で書かれた資料から読み取れることを根拠に、相手意識を持って、文章の構成や展開を考え、ワークシートに記述する。</p>	<p>◇両方の考えに触れながら意見をまとめていく根拠として、現在使用している資料が最もふさわしいのか、自分が設定した相手を意識できているかを検討しながら、2例以上（具体例の入れ替えを含む）考えさせる。</p> <p>◇2例以上考えたものをそれぞれ比較させ、今回の意見文の構成や展開に最もふさわしい例を選ばせ、その例を選んだ根拠を記述させる。</p> <p>◆自分の伝えたいことの根拠が、自分の意見に賛成のものばかりである場合は、反対意見の相手を意識させて、根拠を選び直させる。</p> <p>◆自分が設定した相手に対して述べる文章の展開や構成として、工夫が必要な生徒には、デジタル機器で設定した相手に関する情報が分かるものを検索させたりして、相手のイメージを的確にもたせるようにする。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> (ワークシートの記述)</p>
--	--	--	---------------------------------------

**手立ての具体を教師と生徒の会話で示します！**

<p><b>【全体指導】のグループで想定されるつまずき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で見付けた資料に偏りがある。</li> <li>・自分の伝えたいことと根拠とするために自分の見付けた資料にズレがある。</li> <li>・自分で見付けた資料と社会問題との関係が薄い。</li> <li>・自分で資料を探しているうちに意見が変化し、最初に課題設定した際の設定と伝えたいことや伝える相手の設定などにズレが生じている。等</li> </ul>	<p><b>会話例あり！</b></p>
---	----------------------

<p><b>指導の具体（個人面談）</b></p> <p>生徒：「先生、ワークシートの2例目を書いている途中です。」</p> <p>先生：「なるほどね、制服の賛否から個性とは何かについて、制服のルーツや他国の状況について調べてあるのは面白いね。いいと思うよ。アメリカが以前よりも小学校で制服を導入しているっていうのは興味深いね。」</p> <p>生徒：「そうなんです、初めて知りました。アメリカは制服なんてない国だと思ってました。小学校で制服を導入した理由が、貧困という社会問題に関わっていました。」</p> <p>先生：「そうみたいね、日本の制服代も調べてみたのね。いい資料の探し方よ。」</p> <p>生徒：「はい。調べて、資料を読み取るうちに自分の意見がはっきりと分かってきました。」</p> <p>先生：「根拠としていこうと思っている資料も面白いものを選んでるよ、書きあがる意見文が楽しみだね。ただ、私が気になっているのは、この文章はだれに対して書くの？」</p> <p>生徒：「学校の生徒指導の先生です。いつも制服について注意しているから。」</p> <p>先生：「確かに、制服という言葉にかかわりのある人だけと…いま君は、制服の賛否について、個性にも触れながら、社会の貧困問題と制服との関係も根拠にしようとしているよね。そのような情報を伝えるのに、生徒指導の先生はふさわしい相手かな？どう？」</p> <p>生徒：「確かに、規則とか校則についてとの関わりなら生徒指導の先生でよいけど、ちょっと伝える相手としては、ずれてますかね？」</p> <p>先生：「そうよね、制服と貧困問題との関係が君の意見の根拠では面白いところよね。そこを意識して伝える相手を設定し直してみたらどうかな？」</p> <p>生徒：「分かりました、調べて設定し直して、ワークシートを書いてみます。」</p>
--

	<p><b>【手立て②】のグループ</b></p> <p>○「職業観」や「比較文化論」など、社会的な問題や、抽象的な概念に関わるような内容のテーマで、それぞれの立場で書かれた資料から読み取れることを根拠に、相手意識を持って、文章の構成や展開を考え、ワークシートに記述する。</p>	<p>◇両方の考えに触れながら意見をまとめていく根拠として、現在使用している資料が最もふさわしいのか、自分が設定した相手を意識できているかを検討しながら、2例以上（具体例の入れ替えを含む）考えさせる。</p> <p>◇2例以上考えたものをそれぞれ比較させ、今回の意見文の構成や展開に最もふさわしい例を選ばせ、その例を選んだ根拠を記述させる。</p> <p>◆自分の伝えたいことの根拠とする資料が、読み取ったことの羅列になってしまっている場合は、読み取ったことから解釈したことを書くようにさせる。</p> <p>◆自分が設定した相手に対して述べる文章の展開や構成として、工夫が必要な生徒には、デジタル機器で設定した相手に関する情報が分かるものを検索させたりして、相手のイメージを的確にもたせるようにする。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> (ワークシートの記述)</p>
	<p><b>【手立て②】のグループで想定されるつまずき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で見つけた資料の情報量が、伝えたいことに対して多すぎる。</li> <li>・自分の伝えたいことと根拠とするために自分で見つけた資料にズレがある。</li> <li>・根拠として使用している資料の解釈ができておらず、資料から読み取れる事実を羅列しただけになっている。</li> <li>・自分で資料を探しているうちに意見が変化し、最初に課題設定した際の設定と伝えたいことや伝える相手の設定などにズレが生じている。等</li> </ul>		<p><b>会話例あり！</b></p>

**手立ての具体を教師と生徒の会話で示します！**

**会話例あり！**

指導の具体（個人面談）

生徒：「先生，ワークシートの2例目を書いている途中です。」

先生：「なるほどね，非正規雇用が増えている状況や問題点を，雇用主の立場や雇用される労働者の立場からいろいろと調べてあるね。いい調べ方だね，面白いわ。」

生徒：「ありがとうございます。それぞれの意見について調べたら，非正規雇用の問題点が明らかになってきました。その一方で，非正規雇用の立場の人の中には，非正規雇用の方が働きやすいというパートタイマーの方の意見などがあって，興味深かったです。」

先生：「そうなんだね，私も勉強になるわ。そこからどんなことを根拠とするの？」

生徒：「非正規雇用が減らないのは，個人の働き方の選択によって選ばれているだけではなく，社会の情勢や，社会の景気，経済状況など，いろいろなことと関わっていることを根拠としていこうと思います。」

先生：「なるほどね。伝えたいことと根拠のつながりや，伝える相手の設定もよいと思うよ。でも，君のワークシートの記述だと，この景気の動向を表した年表と非正規雇用の人数のグラフから，年表やグラフのそれぞれから読み取れる事実だけが書いてあって，なぜ，景気の動向と非正規雇用の人数が増えることに関係あるといえるのか，この年表とグラフからどのようなことがいえるのかについての説明がないよね。この年表やグラフの数字から読み取ったことを基に，自分で解釈し，その解釈を根拠としないといけないよね。

生徒：「そうですね，これだと，それぞれの資料のグラフの数値などを読み取ったり，資料の文章を要約したりしただけで，自分の意見の根拠としてどのように関係しているのかが分かりにくいですね。」

先生：「せっかく意見の根拠として生かせそうな，よい資料をさがしているから，今，根拠として使っている資料から読み取れたことを，自分の意見や，他の資料と関連付けて，自分の解釈をいれながら，構成をし直してみようか？

生徒：「分かりました。やってみます。」

まとめ 5分	○デジタル機器に本時の成果物を保存し，振り返りを行う。	◇構成をする上で，どんなことに気を付けているかを数名に発表させる。
-----------	-----------------------------	-----------------------------------